

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		きつずばーくこうべI				公表日	2025年 11月 1日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		・利用者人数が変動なので、人数によって活動内容を工夫しています。		
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		・日によって人数の変動があるため、利用者数によってスタッフの配置を調整し、安全面に留意しています。		
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		・集団活動と個別活動で空間を分けるなど、分かりやすい環境整備を行います。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		・毎日、活動後に清掃・消毒、また月末には安全管理チェックを行い、清潔、安全に気を付けています。		
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		・クールダウンできるなど、個別に対応もできるよう区切られた空間を用意しています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		・定期的にミーティングの開催や、日々の情報共有を行い、職員間で意識の統一を行っています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		・評価表集計後、職員間で情報を共有し、問題点や改善点の意識を統一し業務改善につなげていきたいと思います。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		・ミーティングや意見交換会を行い、より良い利用者支援を目指しています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		・巡回指導や、運営指導などでご指摘いただいた点については、改善を検討し取り組んでいます。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		・内部研修の開催や、必要に応じて外部の研修も受講しています。		
適切な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		・安心してご利用いただけるよう、支援プログラムを作成・公表しています。		
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		・定期面談や、日々保護者様からのお子様についての相談やニーズを聞いた上、個々の課題を明確にし作成しています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		・職員間での情報の共有を行い、子どもを考慮した検討を行っています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		・計画作成後、職員間で情報共有を行い、支援を行っています。		
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		・神戸市家庭センターや、小児科などの定期的な発達検査を促し、確認しています。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		・個別支援計画については、支援の内容や方法について、必要な課題を項目化し、具体的に支援内容を設定しています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		・定期的にミーティングや話し合いの場を設け、活動プログラムの立案を行っています。		

援の提供	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○	・日替わりで活動プログラムを作成し、担当・役割を設定し活動を進めています。季節ごとのイベントなども取り入れています。	
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○	・集団活動を設定した月々のプログラム、また、個別活動においても利用者様のニーズに合わせて参加方法や内容を工夫して設定しています。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	・支援開始前にミーティングを行い、支援内容、役割分担について確認を行っています。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	・活動終了後には、当日の業務方向を行い、用法の共有に取り組んでいます。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	・日々の個別記録、業務報告を記録し、内容を定期的に検証し、支援内容の改善、向上に取り組んでいます。	
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	・年2回の支援内容の評価、支援計画の作成により、内容の見返しに取り組んでいます。	
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	○	・自立支援、創作活動など、総合的な支援を行えるよう日々の活動に取り組んでいます。	・地域交流に関しては行えていませんので今後の検討課題にいたします。
	25 子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○	・小さな自己選択を積み重ねることで「自分でもきめることができる」という自信につなげられるよう支援しています。	
	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○	・サービス担当者会議への参加依頼があれば、できる限り予定を調整し参加します。	
関係機関や保護者との連携	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	・必要に応じて医療機関、担当者と情報交換し連携して支援を行っていきます。	
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○	・学校での行事予定などは保護者様を通じていただいている。その他、必要に応じて学校との連絡調整を行っています。	
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○	・必要に応じて、書面や電話にて情報共有を行っております。	
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○	○	・まだ開園後、対象となる児童がいないため、行っておりません。今後に向けて検討課題としています。
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○	・4月から地域支援体制強化事業が実施されているため、研修会や情報交換会に積極的に参加し情報共有や助言を受けています。	
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	△	・地域イベントの参加や日々の戸外活動の中で触れ合うことはあります。	・積極的な交流事業は行えていないため、今後の課題です。
	33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	△	・以前より、研修等には参加していましたが、10月から自立支援協議会への加盟予定です。	
	34 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○	・日々の状況においては、送迎時でのお伝えや、システムでの活動記録にて報告を行い、共通理解を深めています。	
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレンツ・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	△	・利用者様からの相談があれば行っています	・積極的には行えていません。今後の検討課題としています。
	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○	・見学時や契約時において、説明を行っています。また、変更が生じる際には、その都度説明を行っています。	
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○	・モニタリングを行い、ご利用者様の意向をお聞きしています。	
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○	・計画書を提示し、内容説明を行っています。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○	・定期面談を行っているほか、送迎時やお電話・システムなどでご相談いただいてます。その都度対応させていただき、必要に応じて個別に懇談を実施しております。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○	・年度初めに、保護者様同士の交流イベントを開催させていただきました。また、年に数回、保護者参加型のイベントも開催し、交流の場とさせていただいています。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○	・利用者様、保護者様からのご意見、苦情に 対して適切な対応が行える体制を整えております。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○	・インスタグラムやホームページを通じて保護者様へ発信を行っています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○	・個人情報を含む書面については、細心の注意を払い取り扱っています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○	・特性に応じた方法で、伝達を行えるよう努力しております。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		・現在行えておりません。今後の課題として検討していきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○	・マニュアルを作成、周知し、訓練も実施しております。マニュアルに関しては、ご希望の保護者の方は閲覧可能となっています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○	・年二回避難訓練を行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○	・契約時に、持病の有無などは保護者様より申請していただいています。	・予防接種については確認不足でしたので、今後の課題としています。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○	・保護者様からの聞き取り、書面での提出をお願いしています。栄養士も在籍しているため職員間で情報を共有をし、おやつの喂食やクッキングの活動の際、安全に配慮して対応しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○	・安全計画については作成を行っています。毎月安全計画に基づき研修や訓練の行っています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○	・安全計画に基づき、保護者の方向けのお便りを作成・配布し、周知しています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○	・そのような事例があった際は、職員間で共有を行っています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○	・虐待防止マニュアルを作成し、定期的に研修を行っています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行ふかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○	・突然的な危険行動が見られる際は、身体拘束は行わず、別室にてクールダウンを行うなどの対応を職員間で統一しています。	・現在身体拘束は行っていないため、身体拘束についての説明や、支援計画の記載などは行っていません。